

### 春節の中華系決済サービス利用が急拡大、前年比 1.8 倍の伸び 東南アジア系決済サービスの利用も増加傾向、訪日旅行の拡大が後押し 桜・労働節シーズンに向け、海外決済サービスの拡充が消費拡大のカギ

中国などの旧正月「春節」が終わり、中国からの訪日客も多く見られました。本レターでは、お店の決済サービス『Air ペイ』、『Air ペイ QR』の決済データから、春節期間における中華系決済サービスの動向を振り返ります。

#### 25 年の春節、中華系決済サービスの利用が前年比 1.8 倍に

24 年および 25 年の春節休暇（24 年 2 月 10 日（土）～17 日（土）、25 年 1 月 28 日（火）～2 月 4 日（火））における『Air ペイ』『Air ペイ QR』の中華系決済サービス（※1）の決済回数を比較したところ、前年比 175% に増加していることが分かりました。日本における海外決済サービスの需要が拡大していることがうかがえます。

また、中華系決済サービスの利用増加に加え、東南アジア系の決済サービスの利用も伸びており、中華系以外のアジア系サービス（※2）の決済回数は 303% という伸びを記録しています。近年、東南アジアからの訪日旅行者が増加していることを背景に、これらの決済手段のニーズが高まっていると考えられます。

特に、近年は欧米からの訪日客と同様に、中国をはじめとするアジア諸国からの訪日旅行者の滞在日数が増加傾向にあります。滞在日数が長くなることで、日本国内での消費機会も増えると考えられます。

また、訪日客にとって、多額の現金を持ち歩くことは安全面でリスクが高く、日本円へ両替する場合には手間も掛かります。その点、自国の決済サービスを日本国内で利用できることで、手間が省けるだけでなく、旅行中の支出管理が容易になったり、時期によってはキャンペーンなどでお得なクーポンを受けとれるといったメリットもあります。

（※1）中華系決済サービス…WechatPay、Alipay、銀聯 QR、銀聯カード

（※2）中華系以外のアジア系決済サービス…AlipayHK、Kakao Pay、Naver Pay、Toss Pay、GCash、EZ-Link Wallet、OCBC Digital、Changi Pay、Touch'n Go eWallet、MyPB by Public Bank、HelloMoney by AUB、TrueMoney、MPay、HiPay

#### 多様化する決済ニーズに対し、春の観光シーズンの消費機会を最大化

国や地域によって決済手段のニーズは大きく異なります。例えば、欧米ではクレジットカードの利用が主流ですが、アジアでは QR コード決済の需要が高い傾向にあります。そのため、特に訪日客が多いエリアでは、多様な決済ニーズに対応することが求められますが、事業者にとっては対応の負担が大きいのも事実です。

『Air ペイ』は、現在 77 種類の決済手段に対応しており、さまざまな国・地域から訪れるお客さまの決済ニーズを幅広くカバーできます。これにより、事業者の皆様は決済手段の選択肢を増やし、訪日客の利便性を高めることが可能になります。

これから、桜や労働節といった春の観光シーズンを迎え、さらに多くの訪日客が見込まれます。こうした機会に向けて、事業者の皆様が多様な決済手段を導入することで、訪日客の利便性が向上し、より多くの消費機会を確保することができます。

私たちは、事業者の皆様が訪日客の消費機会を逃すことなく、スムーズな決済体験を提供できるようサポートしていきます。結果として、訪日客にとっても、より快適な消費体験につながると考えています。今後も、日本を訪れる多様な旅行者に対応できる決済インフラの整備を進めてまいります。

※QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。



株式会社リクルート  
プロダクト統括本部 SaaS  
プロダクトマネジメント室  
決済プロダクトマネジメント  
ユニット 部長  
『Air ペイ』『Air ペイ QR』  
プロダクト担当者  
山本 智永（やまもと とも  
なが）【取材可能】

本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>